



今年度の「ひりゅう」も最終号となりました。これから年度末の慌ただしい時期に入ります。体調に気をつけ、この時期を乗り切れるよう頑張ってください。

## 給与・旅費口座は解約しない

給与や旅費口座は、事務職員に相談なしに解約や変更などしないでください。3月分の旅費や実績手当などが振替不能になります。解約等したい場合は事務職員へお尋ねください。

## 事務処理や引継は確実に

- ・勤務処理簿や出勤簿、旅行命令簿等の押印や記入漏れがないか確認
- ・学級会計、学年会計などの未払いがないか確認
- ・教室や机、ロッカーなどの鍵の返却
- ・指導書やPC（校務用ICカード）備品等の引継



## 住居手当受給時に注意すること

異動に伴い借家等へ転居予定の方で4月から新住居で住居手当を受給する場合の条件

- ① 新住居の契約開始日が4月1日（異動発令日）以前
- ② 赴任期間中の入居である
- ③ 4月分の家賃負担がある（領収書が必要になります）

※その他、世帯全員の住民票や契約書の写しが必要です

(例)

契約日 4/1      入居日 4/3

4月分家賃支払いあり

新住居での4月分の住居手当あり

契約日 4/2      入居日 4/3

4月分家賃支払いあり

新住居での4月分住居手当なし

## 単身赴任手当申請予定の場合（必要書類）

- ・転居後の職員の世帯全員の住民票
  - ・別居後の配偶者の世帯全員の住民票
  - ・転居前の職員の世帯全員の住民票（職員と配偶者が同時に別の住居移転の場合のみ）
- \*その他別居理由によって添付書類が違うため異動先の事務職員へお尋ねください。

## 年末調整で住宅控除をうけている方（転居予定の場合）

年末調整で住宅取得控除を受けている自宅から家族全員転居される方は、住宅所在地の所轄の税務署で手続きをします。これをすることで再び自宅に居住することになった年以後、残存控除期間の住宅控除を受けることができます。

提出書類

- ・「転任の命令等により居住しないこととなる旨の届出書」
- ・未使用分の「年末調整のための（特定増改築等）住宅借入金等特別控除証明書兼給与所得者の（特定増改築等）住宅借入金等特別控除申告書」

### 3月・4月は要注意！

春は異動の時期です。そこで以下のようなことが予想されそうな場合は早めに事務職員までお知らせください。認定関係は本人の申告に基づいて行われます。

- ・扶養手当受給者・・・子が3月に高校や大学等を卒業し就職する予定。  
配偶者が3月末で退職する。または4月から就職する予定。
- ・単身赴任手当受給者・・・配偶者や子が転居する予定。または同居する予定。
- ・児童手当受給者・・・子が転居して職員と別居する予定。

### 4月から扶養手当の額が変わります！

5月号のひりゅうでも紹介いたしました、扶養手当の額が変わりますので再度お知らせです。以下の表のようになります。

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度以降
配偶者に係る手当	4,500円	→ 2,500円	廃止(0円)
子に係る手当	11,500円	→ 13,000円	13,000円

### 令和8年4月からの旅費について

来年度から旅費制度が改正されます。赴任旅費（異動の際に発生する旅費）や普通旅費（出張の際に発生する旅費）の金額がこれまでと変わることが予想されます。出張で航空機や船、宿泊施設を利用する場合は領収書が必ず必要になりますので**確実に保管をお願いします。**

※赴任旅費については、別紙をご覧ください。

### 事務支援室 今年度の取組み

2月25日（水）りゅうがく館にて「令和7年度 第2回龍郷町学校事務共同実施協議会」が開催されました。今回の協議会では、支援室業務の1年間の実績と研修テーマの取組みについて報告を行いました。内容を下記にもまとめていますので、ぜひご覧ください。

本年度も、龍郷町学校事務支援室の活動へのご理解とご協力、ありがとうございました！

#### ☆ 諸手当認定件数

手当種類	件数
扶養手当	6件
通勤手当	28件
住居手当	9件
単身赴任手当	4件
児童手当	32件
計	79件

令和8年1月末現在



#### ☆ 事務支援における業務の実績

業務名	実施状況
諸手当認定業務	諸手当の認定
県費事務	相互点検の実施 受給権調査の実施 実績報告書確認
旅費事務	旅費請求書の点検 旅費関係情報の共有
町費関係事務	町費事務マニュアルの加除修正 物品共同購入見積り
広報活動事務	ひりゅうの年8回発行
新採・臨採事務支援	転入者への事務支援
その他教育支援	配分外バス見積り 職員向けリーフレット改訂

今年度もひりゅうを読んでいただきありがとうございました。昨今、様々な制度改正により、事務職員も情報を更新していくのが大変な今日この頃であります。しかし、このひりゅうを通して学ぶことが出来ているのでとてもありがたい存在となっています。来年度も先生方に必要な情報を提供していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。